



巻末資料

平和を仕事にする

自衛隊員である誇りと使命を胸に

みなさんは、自衛隊の仕事を知っていますか。

「国の平和と独立を守る」という重要な使命のもと、わが国に対する侵略行為には即座に対応し、自然災害時には人命救助と復興に尽力する。さらには自衛隊の力を必要とする諸外国に赴き、国際社会の平和にも貢献しています。

自衛隊員は「平和を仕事にする」を胸に、誇りをもって社会に貢献することができます。

ここでは、自衛官になるためのコースを紹介するとともに、在職中、退職後までを含めた様々な取り組みを紹介します。

さまざまな形で社会に貢献できる、幅広いフィールドがあります。

自衛隊には多様な働き方（コース）、多くの職種・職域があり、自分の興味や得意分野を活かしながら、一人ひとりがイメージする「将来の自分」を実現できる幅広いフィールドが広がっています。また、防衛省・自衛隊は、意欲と能力のある女性があらゆる分野にチャレンジする道を拓いており、実質的にすべての職種・職域に男女関係なく就くことができます。



自衛官とは

一言に自衛官といっても、それぞれの役割に応じて身分が異なります。
自分にあった自衛官のキャリアを見つけましょう。

自衛官の分類

自衛官は身分制度の面からみると、常勤の自衛官と、普段はそれぞれの職業に従事しながら、各種事態発生時には招集に応じて自衛官となる予備自衛官の2つに大きく分けられます。階級の面からみると、幹部自衛官（将から3尉までの8階級）と准曹士自衛官（准尉から2士までの8階級）に分けられます。組織の面からみると、陸上自衛官、海上自衛官、航空自衛官の3つ（即応予備自衛官は陸上自衛隊、予備自衛官補は陸上自衛隊、海上自衛隊のみ）に分けられます。

幹部自衛官

指揮官として部隊を指揮したり、幕僚として部隊運用に必要な各種施策の企画立案を行います。

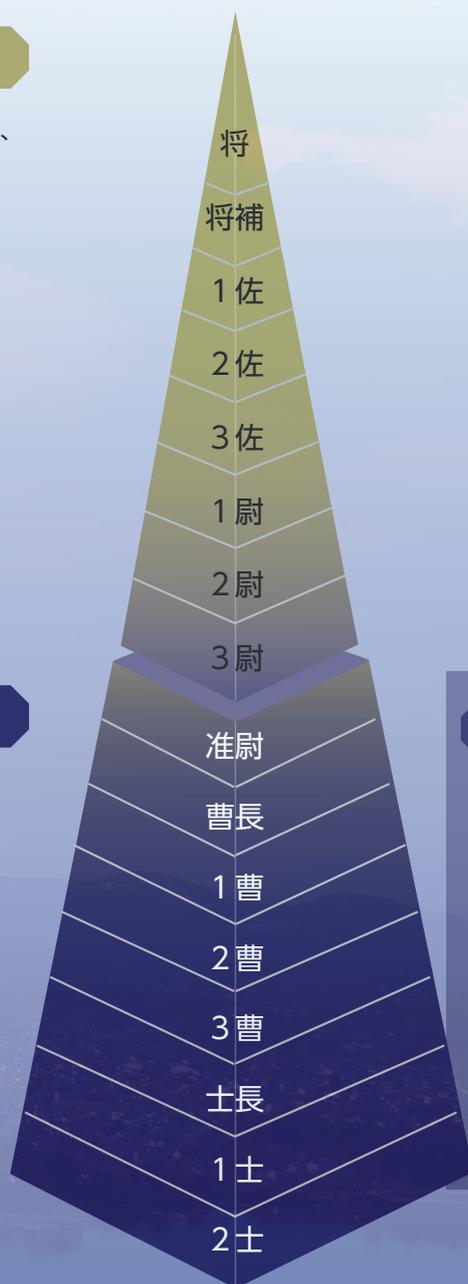
准曹士自衛官

各職域のプロフェッショナルとして、指揮官の命令を実行に移す部隊の中核を担います。

予備自衛官

招集命令に応じて出頭し、自衛官として後方支援任務に当たります。第一線部隊の現職自衛官と共に任務に就く即応予備自衛官と、自衛官経験のない方が予備自衛官になるための予備自衛官補があります。

※予備自衛官、即応予備自衛官の階級は常勤の自衛官と同じです。予備自衛官補には階級はありません。

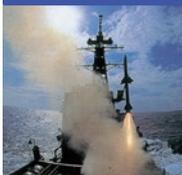


自衛隊の仕事図鑑

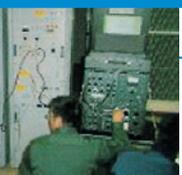
陸上自衛隊の主な職種一覧

	<p>普通科</p> <p>地上戦闘の骨幹部隊として、機動力、火力、近接戦闘能力を有し、作戦戦闘に決着をつける重要な役割を果たします。</p>		<p>特科(高射特科)</p> <p>高射特科部隊は、対空戦闘部隊として侵攻する航空機を要撃するとともに、広範囲にわたり迅速かつ組織的な対空情報活動を行います。</p>		<p>施設科</p> <p>戦闘部隊を支援するため、各種施設器材をもって障害の構成・処理、陣地の構築、渡河等の作業を行うとともに、施設器材の整備等を行います。</p>
	<p>機甲科</p> <p>戦車部隊と偵察部隊があり、主に戦車の正確な火力、優れた機動力及び装甲防護力により、敵を圧倒撃破します。</p>		<p>情報科</p> <p>情報に関する専門技術や知識をもって、情報資料の収集・処理及び地図・航空写真の配布を行い、各部隊を支援します。</p>		<p>通信科</p> <p>各種通信電子器材をもって部隊間の指揮連絡のための通信確保、電子戦の主要な部門を担当するとともに、写真・映像の撮影処理等を行います。</p>
	<p>特科(野戦特科)</p> <p>野戦特科部隊は、火力戦闘部隊として大量の火力を随時随所に集中して広域な地域を制圧します。</p>		<p>航空科</p> <p>各種ヘリコプター等をもってヘリ火力戦闘、航空偵察、部隊の空中機動、物資の輸送、指揮連絡等を実施して、広く地上部隊を支援します。</p>		<p>武器科</p> <p>火器、車両、誘導武器、弾薬の補給・整備、不発弾の処理等を行います。</p>

海上自衛隊の主な職種一覧

	<p>射撃</p> <p>護衛艦等において、砲、ミサイルを操作し、各種目標に対する攻撃を実施します。また弾薬等の取り扱いを実施します。</p>		<p>気象・海洋</p> <p>気象・海洋観測、天気図等の作成、気象・海洋関係の情報の伝達に関する業務を行います。</p>		<p>飛行</p> <p>P-3C/P-1哨戒機、US-1A/2救難飛行艇、SH-60J/K艦載ヘリコプター等の搭乗員として飛行任務を実施します。</p>
	<p>通信</p> <p>陸上基地、艦艇及び航空機等の通信、暗号の作成及び翻訳、通信器材・暗号器材及び関連器材の操作整備を業務とします。</p>		<p>航海・船務</p> <p>航海は、艦艇の艦橋において航海に関する業務を実施します。船務はレーダー・電波探知装置等を活用し、戦術活動を実施します。</p>		<p>機関</p> <p>エンジン(ガスタービン、ディーゼル等)発動機等の運転、整備及び火災、浸水対処等を業務とします。</p>
	<p>水雷</p> <p>護衛艦、潜水艦で魚雷等の水中武器、ソナー等の水中搜索機器を操作し、潜水艦の搜索、攻撃及び器材の整備を行います。</p>		<p>給養</p> <p>艦艇及び陸上部隊において、隊員に対する給食業務を実施します。</p>		<p>航空機整備</p> <p>航空機の機体、エンジン及び計器並びにこれらを維持するための器材等の整備、修理、補給等に関する業務を行います。</p>

航空自衛隊の主な職種一覧

	<p>飛行</p> <p>戦闘機、輸送機、偵察機及び政府専用機などを操縦し、防空、偵察航空、航空輸送及び航空救難などを行います。</p>		<p>高射</p> <p>侵攻してくる航空機や巡航ミサイルを撃破するため、ペトリオットミサイルシステムの操作及び器材の整備を行います。</p>		<p>通信</p> <p>通信器材を操作し、電報等の送受信を行うほか、器材の整備管理等を行います。</p>
	<p>航空管制</p> <p>航空自衛隊の飛行場(共用飛行場を含む)における航空交通管制業務を行います。</p>		<p>電算機処理</p> <p>電子計算機及び関連器材の操作やプログラムの作成、電子計算機システムの管理を行います。</p>		<p>武器弾薬</p> <p>航空機に搭載される武器弾薬等の補給、管理、整備を行います。</p>
	<p>警戒管制</p> <p>日本の領空を常時監視し、接近又は侵入してくる航空機を早期に発見・識別し、必要に応じて戦闘機の誘導を行います。</p>		<p>気象</p> <p>航空機の離着陸及び飛行安全確保のため、気象観測・予報を行い、各種気象情報を全国の部隊に通報したり、天気図の作成を行います。</p>		<p>航空機整備</p> <p>航空機のエンジンや搭載する電子機器類、レーダー等の整備及び航空機の定期整備を行います。</p>



動画もチェック

自衛隊はいろいろな職種のプロフェッショナルによって成り立っています。
陸・海・空自衛隊には、きっと皆さんも興味を持つ様々な職種・職域があります。

14万人を超える隊員が日夜任務に励んでいます。万一、国土への侵略があった場合には防衛の中心的な役割を担います。



需品科

糧食・燃料・需品器材や被服の補給、整備及び回収、給水、入浴洗濯等を行います。



警務科

警護、道路の交通統制、隊員の規律違反の防止、犯罪捜査など部内秩序の維持に寄与します。



音楽科

隊員の士気を高揚するための演奏や広報活動に関する演奏を行います。



輸送科

大型車両をもって部隊、戦車、重火器、各種補給品を輸送するとともに、輸送の統制、ターミナル業務、道路交通規制等を行います。



会計科

隊員の給与の支払いや、部隊の必要とする物資の調達等の会計業務を行います。



化学科

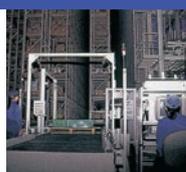
各種化学器材をもって放射性物質等で汚染された地域を偵察し、汚染された人員・装備品等の除染を行います。



衛生科

患者の治療や医療施設への後送、部隊の健康管理、防疫及び衛生器材の補給・整備等を行います。

海洋国家である日本の国土防衛の最前線で活躍しています。海上交通の安全を確保します。



経理・補給

給与・旅費等の計算、物品等の調達、部隊の任務を遂行するために必要な装備品等を準備し、供給する業務を実施します。



情報

情報資料の収集、処理及び情報の配布、秘密保全等を業務とします。



音楽

音楽演奏を通じて隊員の士気を高揚します。また、広報活動に関する業務を行います。



航空管制

飛行場で離着陸する航空機又は飛行場周辺を飛行する航空機の無線・レーダー等での誘導等を業務とします。



潜水

浅海域における簡単な水中作業や機雷・不発弾等の爆発物の捜索・処分、深海域における潜水艦等の乗員の救助に従事します。



掃海機雷

掃海艦艇等で機雷探知機、掃海具等を操作し、機雷の処分及び機雷の調整、器材の保守整備を行います。



施設

国有財産についての管理、運用、施設器材・施設車両を用いての建設、道路等の工事及び器材の設備を行います。

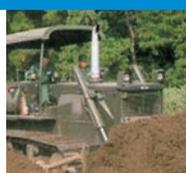


衛生

病院における医療及び医務室における健康管理や身体検査を実施するとともに、潜水に関する調査・研究を業務とします。



飛行部隊や高射部隊などにより、日本の領域を侵犯する航空機や弾道ミサイルなど、空からの脅威を防ぎます。



施設

基地内施設の維持管理（土木・建築・電気等）及び航空機事故や建物火災等非常時の消火、人命救助等を行います。



警備

基地内巡察などを行い、基地の施設や物品等の警戒等を行うほか、基地内出入者の監視等を行います。



衛生

隊員の健康診断及び各種身体検査のほか、医療、環境衛生、食品衛生検査を行います。



音楽

航空自衛隊には5つの音楽隊があり、国の行事や自衛隊の公式行事の時に演奏を行います。



補給

航空自衛隊で使用する物品の需給統制、在庫管理、取得出納、保管等を行います。



輸送

航空自衛隊で装備・使用されている車両で、人や貨物を輸送したり、航空機へ貨物を搭載する業務を行います。

自衛官になるための様々なコース

自衛官候補生



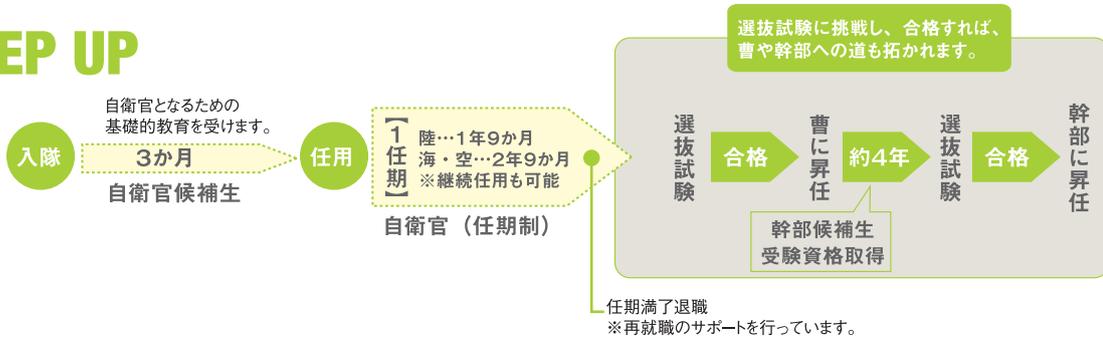
詳細はこちらから

技術と体力を一心に磨く任期制自衛官

自衛官となるために必要な基礎的教育訓練を経て、任用期間の定められた「任期制自衛官」に任官します。様々な教育訓練や職務を通じた技術の習得、任期満了後の再就職に向けた資格の取得など、希望にあった将来設計が描けます。

任期満了後も任期を継続する道や選抜試験を経て曹に昇任し非任期の自衛官になる道も開けています。任期満了で自衛隊を離れる場合には民間企業などの再就職支援をしっかりと行っています。

STEP UP



一般曹候補生



詳細はこちらから

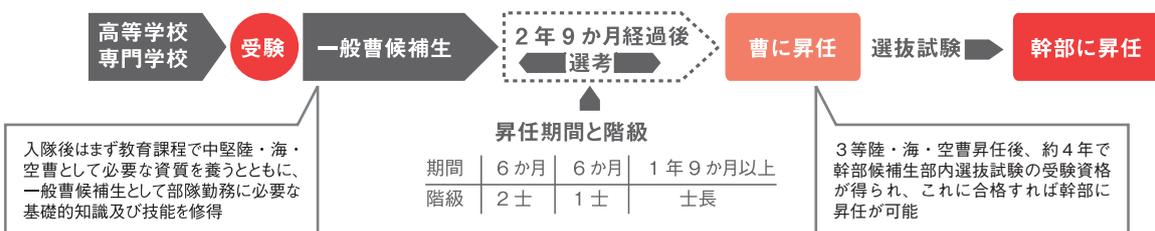
部隊の中核となる自衛官を目指す

部隊の基幹隊員である陸・海・空曹自衛官を養成する制度です。

入隊後、教育課程や部隊勤務で知識や経験を積み、それぞれの職域のプロとして活躍します。

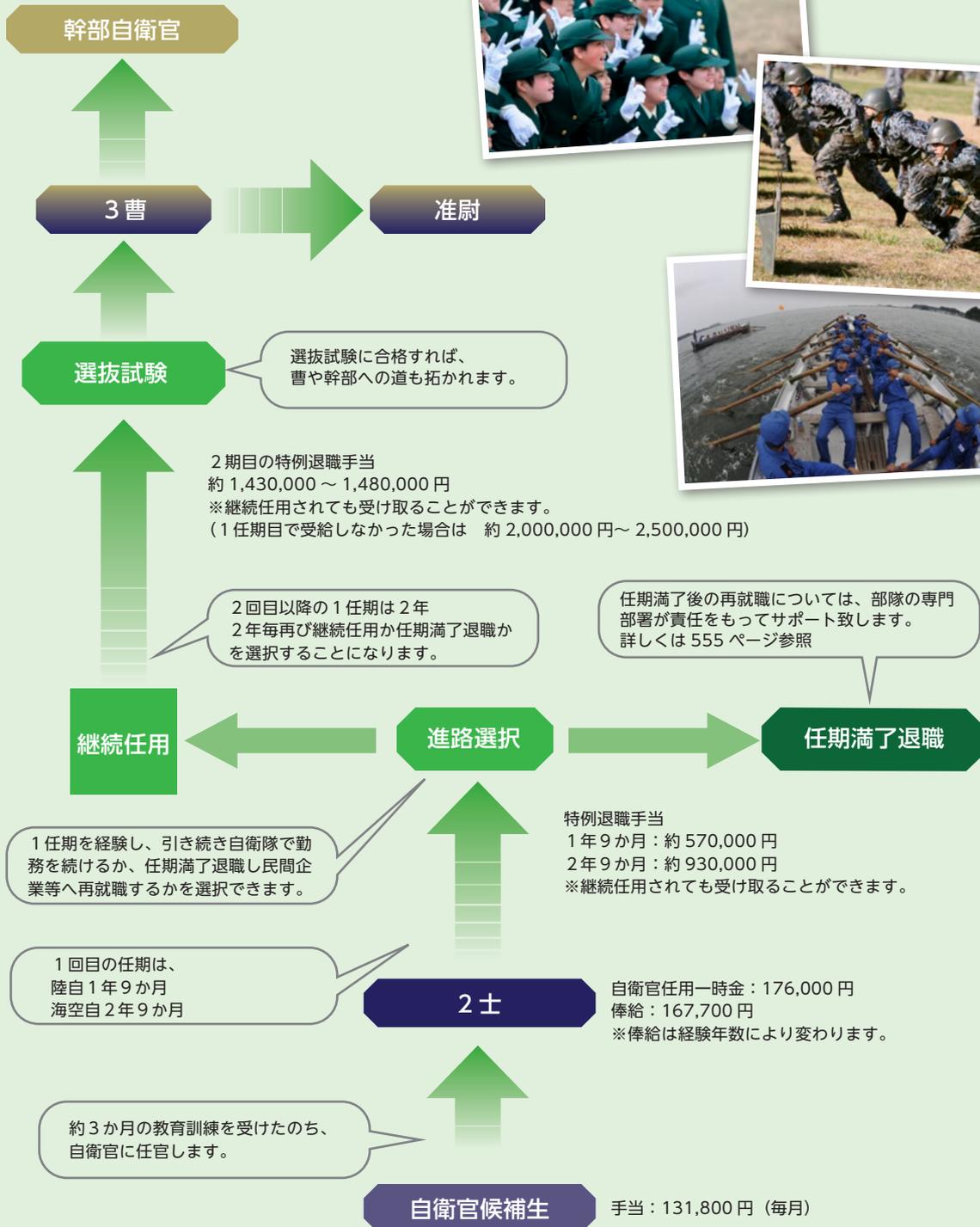
自衛官の基礎知識はもちろん専門的な技能まで、じっくりと着実に身に付けながら自分のペースで成長することができます。

STEP UP



自衛官になるといっても、その職域や進路は多種多様です。
希望や適性に応じて最適なコースを選択することができます。

任期制自衛官ガイド



※俸給、手当の額は法律改正により変更になる可能性があります。

お手持ちのパソコンからさらに詳しいシミュレーションを体験できます。
<http://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/streaming/guide/index.html>

防衛大学校学生



詳細はこちらから

国を思い自分を見つめる若人

将来、各自衛隊の幹部自衛官となる者を4年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。広い視野、科学的な思考力、豊かな人間性を持ち、創造力と活力に溢れる優れた幹部自衛官となるため、知育以外に徳育と体育を重視しています。

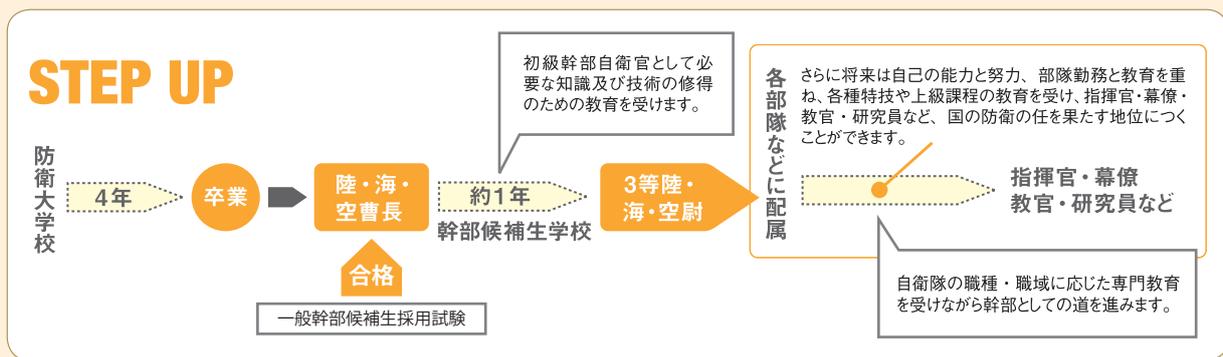
一般幹部候補生



詳細はこちらから

指揮を執る。この国を守り抜くために

防衛大学校と一般大学の卒業生が、陸・海・空自衛隊それぞれの幹部候補生学校において、自衛隊組織の骨幹である幹部自衛官として必要な知識と技能を学びながら、その資質を養います。



広報官の声



青森地方協力本部 八戸地域事務所 陸曹長

たも まきこ
田茂 牧子

陸上自衛官である叔父、兄の姿に憧れ自衛官の道を目指しました。部隊に配属されてから、海外での訓練、災害派遣活動等、男性自衛官と同じように、いろいろな分野の仕事、貴重な経験を積ませてもらいました。これからもっと輝き活躍する女性自衛官のポスト・環境が増えていきます。私達と一緒に、働いてみませんか？ 男性の方ももちろん大歓迎！ ちょっと興味はあるけれど……。と思っているみなさん、気軽に最寄りの地方協力本部に立ち寄ってみてください。新しい可能性が、ぐんと広がります。私達広報官が、優しく対応します。

防衛医科大学校医学科学生

生命をつなぐ平和と医療の先駆者



詳細はこちらから

将来、医師である幹部自衛官となる者を6年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。医師としての知識や技能のほかに、生命の尊厳への理解やあらゆる任務を遂行できる強靱な体力も養います。

STEP UP

防衛医科大学校

6年

医師国家試験

卒業

陸・海・空
曹長

約6週間
幹部候補生学校

合格
卒業

2等
陸・海・空尉

2年

防衛医科大学校病院
などで臨床研修

各自衛隊病院、
部隊

幹部自衛官として必要な知識及び技術の修得のための教育を受けます。

医師免許を取得した者は、2年間の臨床研修を防衛医科大学校病院などで受けます。

医師国家試験に合格し、かつ幹部候補生学校を卒業した者は2等陸・海・空尉に昇任。

※自衛隊を退職する場合
卒業後9年未満に自衛隊を離職する場合は、卒業までの経費を償還しなければなりません。
償還金の額は隊員としての勤務期間によって計算されます。

防衛医科大学校看護学科学学生

人を救う保健師・看護師に



詳細はこちらから

将来、保健師・看護師である幹部自衛官となる者を4年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。看護専門職者としての優れた教養・知識・技術の実践を通して、防衛省・自衛隊の国内外における活動に貢献できる人材を育成します。

※自衛隊を退職する場合
卒業後6年未満に自衛隊を離職する場合は、卒業までの経費を償還しなければなりません。
償還金の額は隊員としての勤務期間によって計算されます。

航空学生

大空で活躍する夢を最年少で実現



詳細はこちらから

海自または空自のパイロットなどを養成します。

団体生活を送りながら各種訓練を受け、戦闘機、哨戒機、輸送機、ヘリコプターなどのパイロットなどに最年少でなることができます。

高等工科学校生徒

技術的スペシャリストへの入り口



詳細はこちらから

高機能化・システム化された装備品を運用する陸上自衛官となる者を養成するための学校です。国際社会においても自信を持って対応できる自衛官を育てます。

予備自衛官補

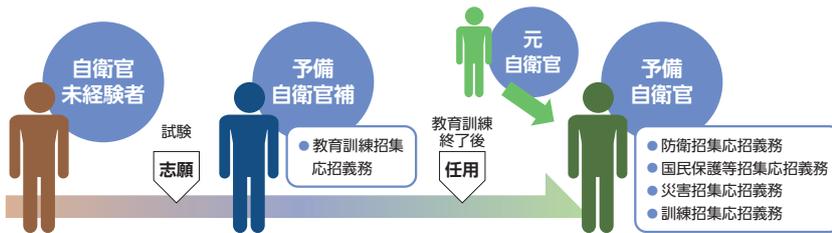
自衛官未経験でも予備自衛官に



詳細はこちらから

社会人や学生といった自衛官未経験者であっても、「予備自衛官補」として教育訓練を受ければ、「予備自衛官」に任用され、各種事態において自衛官として社会に貢献できます。

「一般」と「技能」（語学、医療など）のコースがあります。



予備自衛官

年5日間の訓練招集に応じながら、各種事態においては自衛官として部隊の後方支援にあたります。

即応予備自衛官

年30日間の訓練招集に応じながら、各種事態においては自衛官として第一線部隊とともに行動します。

予備自衛官等の職務に対する理解と協力の確保に資するための給付金の新設

予備自衛官又は即応予備自衛官が防衛出動、国民保護等派遣、災害派遣等（※）に招集されたこと等により平素の勤務先を離れざるを得なくなった場合、その職務に対する理解と協力の確保に資するための給付金を使用者（雇用主）に支給する制度の新設

（※）即応予備自衛官にあつては、これらに加え、治安出動、地震防災派遣及び原子力災害派遣の場合がある。

①防衛出動、国民保護等派遣、災害派遣等のため招集に応じ平素の勤務先を離れた場合

（例）予備自衛官等である従業員3名が1人当たり10日間、合計30日間招集された場合



②招集中の負傷又は疾病により平素の勤務先を離れた場合

（例）上記①のための招集中又は訓練招集中の負傷又は疾病により入院等による治療を要し、X日間（※）、平素の勤務先を離れた場合



《給付額》

$$\left[\text{予備自衛官等である者が使用者（雇用主）の事業に従事することができなかった日数} \right] \times \left[\text{その間における当該事業の継続に伴う負担を考慮し政令で定める額（日額34,000円）} \right]$$

○ 施行期日：公布の日から起算して6月を超えない範囲内において政令で定める日

ワークライフバランスに関する取組

仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現するため、防衛省・自衛隊として以下のような取り組みを実施しています。

災害派遣などの緊急登庁時における子どもの一時的預かり

災 害派遣などの際の緊急登庁時に、駐屯地等において概ね5日間程度、子供を預かることができる態勢を整備しています。

庁内託児施設の整備

自 衛隊の特性（不規則な勤務形態）に対応できる庁内託児施設をこれまで8か所（三宿、熊本、横須賀、真駒内、朝霞、入間、市ヶ谷、防医大）に整備しています。

キャラクターを用いたワークライフバランスに関する周知活動



Work Life Balanceの頭文字（WLB）をとった「ワラビーちゃん」というキャラクターを活用し、親しみやすい形でワークライフバランスに関する各種の周知活動などを実施しています。

高級幹部などに対する意識啓発セミナーの実施



働 き方改革を進める上では、幹部職員の意識改革が必要であることから、部外講師による内部部局及び各自衛隊の高級幹部などに対する意識啓発セミナーを集中的に実施しています。



退職後の就職援護の取組

自衛隊は精強性を保つため、多くの自衛官は、50代半ば(若年定年制自衛官)または20代(大半の任期制自衛官)で退職することになります。

退職後の再就職の支援は、雇用主たる国(防衛省)の責務であり、将来の不安の解消や優秀な人材の確保のためにも極めて重要であることから、再就職に有効な職業訓練などの援護施策を行っています。

■ 任期制隊員の就職支援



■ 若年定年退職隊員の就職支援

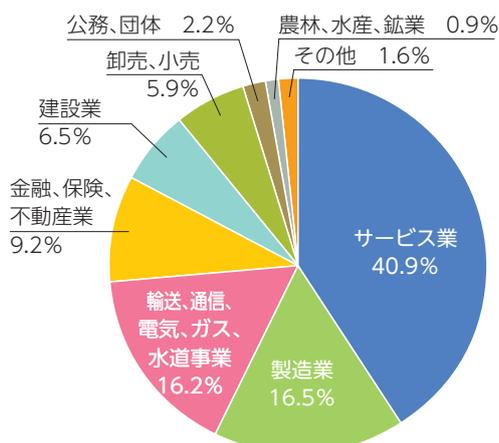


■ 就職援護施策として行っている主な職業訓練

自動車運転	● 大型自動車 ● 普通自動車 ● 中型自動車 ● 大型特殊自動車 ● けん引
施設機械等運転	● フォークリフト ● ボイラー技士 ● 車両系建設機械 ● クレーン運転士 ● 小型移動式クレーン
電気通信技術	● 電気工事士 ● 電気主任技術者 ● 電気通信技術者 ● 無線通信士
危険物等取扱	● 危険物取扱者 ● 高圧ガス製造保安責任者 ● 第3種冷凍機械責任者 ● 毒物劇物取扱責任者
情報処理技術	● パソコン基礎検定 ● ITパスポート ● 基本情報技術者 ● 応用情報技術者
社会福祉関連	● 介護職員初任者研修 ● 福祉住環境コーディネーター ● サービス介助士 ● メンタルヘルスマネジメント ● 介護支援専門員
労務等実務	● 警備員検定 ● 運行管理者 ● 防災士 ● 総合危機管理士 ● 社会保険労務士
法務等実務	● 宅地建物取引士 ● 行政書士 ● 国内旅行業務取扱管理者 ● 通関士 ● 秘書検定
その他	● 医療事務 ● ファイナンシャルプランナー ● 消防設備士 ● 管理業務主任者 ● 溶接技能者 ● 衛生管理者 ● 医療保険事務 ● 日商簿記 ● 非破壊検査 ● 防火管理者 ● 調理師

※上記を含め、約110課目の職業訓練を実施しています。

■ 29年度就職援護実績



任期満了 退職者に対する 援護実績	援護希望者数	1,973 人
	就職決定者数	1,966 人
	就職決定率	99.6%

若年定年 退職者に対する 援護実績	援護希望者数	4,347 人
	就職決定者数	4,258 人
	就職決定率	98.0%

自衛隊を退職した後も人生は続きます。
防衛省・自衛隊では退職自衛官の再就職支援も行っています。

任期满了退職後援護で再就職した人の声



東急セキュリティ株式会社 タウンセキュリティ事業部 鉄道警備部
ときた こうすけ
鞆田 耕介氏

私は、高校卒業後、海上自衛隊補給艦「ときわ」で3年間調理員をしたのち、任期满了後「東急セキュリティ」に入社しました。入社後は、自衛隊で培った敬礼等の基本動作や規則等を遵守する意識の大切さが役に立ちました。現在、私は駅での警備業務に就いています。トラブル対応や巡回・駅での案内をしている際に、感謝されることや子供たちの笑顔を見ることが嬉しく、やりがいを感じています。

雇用者の声



東急セキュリティ株式会社 タウンセキュリティ事業部 鉄道警備部 課長
ながはま だいすけ
長濱 大介氏

当社は、東急沿線を中心に展開する警備專業会社です。現在、約1,000名の警備員が活躍しておりますが、その内56名が自衛隊出身者です。入社当初から、鞆田さんの基本動作の完成度は群を抜いておりました。また、上下関係の大切さもわきまえており、隊長や駅スタッフとも良好な関係を築いております。今後益々の活躍が期待できます。

若年定年退職後援護で再就職した人の声



有隣興業株式会社
ふかみ じゅんいち
深見 順一氏

私は、平成26年11月入社後、業務部環境整備課長として勤務しております。業務内容は、管理監督、現場作業員への安全衛生教育及び指導であり、航空自衛隊の教育幹部として培った体力、気力、調整力及び学生教育の経験が大いに活かせる職場です。基地援護室から早期に企業の情報提供を図っていただいたことにより、自分に適した会社を紹介してもらえました。基地援護室には気軽に足を運ぶ等、積極的な再就職活動が人生の再出発には重要だと実感しております。

雇用者の声



有隣興業株式会社 代表取締役社長
いちかわ まきひこ
市川 牧彦氏

弊社は、太平洋セメントのグループ企業として熊谷工場の業務請負事業、建設事業、環境・リサイクル事業等を請負っております。自衛官の採用は任期制隊員も含め5名(全て航空自衛官)であり、自衛隊で培った知力、体力のもとそれぞれの職場で活躍しております。今後も引き続き、自衛官の採用には大いに期待を寄せております。

自衛官の制服、階級章、き章などの紹介

① 帽章

陸海空で着用する帽章です。
海自では階級に応じて異なる帽章を着用します。



② 部隊章

自衛官の所属を示す標章であり、陸上自衛官は右腕、航空自衛官は右胸に着用します。

陸上自衛隊



航空自衛隊



③ き章

自衛官が有する職務や技能・資格を示し、左胸に着用します。



モデルは陸上自衛官 (2 等陸曹)

陸上自衛官の制服の刷新

現行の陸上自衛官の制服は採用から26年を経ており、改めて隊員の士気向上施策の一環として、13(平成25)年から、部外有識者や隊員からの意見などを踏まえつつ、陸上幕僚監部において制服の刷新について検討を重ね、18(平成30)年3月の陸上総隊の新編により陸上自衛隊の組織が大幅に刷新されるのに併せて、その制服も刷新することとしました。

④ 防衛記念章及び防衛功労章など

防衛記念章は、表彰などを受けた自衛官、特定の職務にあった自衛官の経歴を記念して、制服の左胸に着用できるものであり、全部で43種類設けられています。

功績により表彰された者		国際貢献従事者		
 個人の功績による表彰	 部隊の功績による表彰	 PKO、能力構築支援活動及び国際緊急援助活動等	 テロ対策特別措置法に関する活動	 イラク人道復興支援措置法に関する活動
 海賊対処行動従事者(ソマリア沖)	 海外勤務経験者(防衛駐在官等)	 国家的行事従事者(オリンピック等)	 国内における大規模災害に係る業務従事者	 海外訓練経験者

防衛功労章及び部隊功績貢献章は、個人や部隊などの功績により表彰された自衛官に授与され、自衛隊の儀式などにおいて、制服の左胸に着用します。



(左) 第1級防衛功労章
(右) 特別部隊功績貢献章

⑤ 階級章

将官を高位として全部で16階級定められており、陸海空で色や形態が異なります。また、着用する制服や階級に応じて着用位置が肩、襟、腕など様々です。

共通呼称		陸上自衛隊		海上自衛隊		航空自衛隊	
幹部	将官	将	 陸上幕僚長	  海上幕僚長	 航空幕僚長		
		将補	 陸 将	  海 将	 空 将		
	佐官	1佐	 1等陸佐	  1等海佐	 1等空佐		
		2佐	 2等陸佐	  2等海佐	 2等空佐		
		3佐	 3等陸佐	  3等海佐	 3等空佐		
	尉官	1尉	 1等陸尉	  1等海尉	 1等空尉		
		2尉	 2等陸尉	  2等海尉	 2等空尉		
		3尉	 3等陸尉	  3等海尉	 3等空尉		
	准尉	准尉	 准陸尉	  准海尉	 准空尉		
曹士	曹	曹長	 陸曹長	  海曹長	 空曹長		
		1曹	 1等陸曹	  1等海曹	 1等空曹		
		2曹	 2等陸曹	  2等海曹	 2等空曹		
		3曹	 3等陸曹	  3等海曹	 3等空曹		
	士	士長	 陸士長	  海士長	 空士長		
		1士	 1等陸士	  1等海士	 1等空士		
		2士	 2等陸士	  2等海士	 2等空士		

制服の紹介

常装冬服

陸海空で通常着用する代表的な制服であり、主に秋～春にかけて着用します。



常装第3種夏服

夏期に着用する制服です。



演奏服装（音楽隊員）

防衛省・自衛隊の儀式、定期演奏会や音楽まつりなどで演奏する陸海空の音楽隊員が着用する制服です。



作業服装

各種作業時や艦艇等への乗込み時に着用します。



特別儀じょう服装、特別儀じょう演奏服装

陸上自衛隊中央音楽隊、第302保安警務中隊の隊員が特別儀じょうの時に着用する服装です。

特別儀じょう服装



特別儀じょう演奏服装



主要装備品の紹介〈陸上自衛隊〉

16式機動戦闘車



〈諸元、性能〉

乗員4名 全長8.45m 全幅2.98m 全高2.87m
最高速度約100km/h 105mm 施線砲
12.7mm 重機関銃

〈概説〉

空輸性及び路上機動性に優れ、軽戦車等を撃破する装輪式の国産装甲戦闘車

水陸両用車 (人員輸送型)



〈諸元、性能〉

全長8.2m 全幅3.3m 全高3.3m
12.7mm 重機関銃 40mm 自動てき弾銃

〈概説〉

海上機動性及び防護性に優れ、島嶼部へ海上からの部隊などを投入する装軌式の水陸両用車両

10式戦車



〈諸元、性能〉

乗員3名
全長9.4m 全幅3.2m
全高2.3m
最高速度約70km/h
120mm 滑空砲、
12.7mm 重機関銃

〈概説〉

対機甲戦闘・機動打撃などで使用する国産戦車。C4I(指揮・統制・通信・コンピューター・情報)機能が特徴

99式自走155mm榴弾砲



〈諸元、性能〉

乗員4名
全長12.22m 全幅3.2m
全高3.02m
最高速度約47km/h
155mm りゅう弾砲
12.7mm 重機関銃

〈概説〉

戦車などの近接戦闘部隊を支援する装軌式の国産自走榴弾砲

CH-47JA (輸送ヘリコプター)



〈諸元、性能〉

乗員3(操縦士など)+55名
巡航速度約260km/h
航続距離約1,040km
全幅18.29m
全長30.18m
全高5.69m

〈概説〉

災害派遣、国際緊急援助活動などでも活躍する輸送ヘリコプター

03式中距離地对空誘導弾



〈諸元、性能〉

【誘導弾】
全長約4.9m
直径約32cm
重量約570kg

〈概説〉

方面隊の作戦地域、重要地域などにおける部隊、施設を掩護する国産の対空誘導弾

12式地对艦誘導弾



〈諸元、性能〉

【誘導弾】
全長約5.0m
直径約35cm
重量700kg

〈概説〉

対上陸戦闘に際して、洋上の艦船などを撃破する国産の対艦誘導弾

中距離多目的誘導弾



〈諸元、性能〉

【誘導弾】
全長1.4m 直径約14cm
重量約26kg

〈概説〉

舟艇から装甲車、人員、構造物にまで対応でき、多目的性を有する誘導弾

除染セット (除染装置I型)



〈諸元、性能〉

乗員3名

〈概説〉

放射性物質、生物剤及び有毒化学剤に汚染された人員・装備品などの除染を行う除染装置

高機動車



〈諸元、性能〉

乗員10名 全長4.9m
全幅2.2m 全高2.3m

〈概説〉

高い最低地上高及びタイヤ空気圧調整装置により、優れた路外機動性能を有する車両

主要装備品の紹介〈海上自衛隊〉

「いずも」型護衛艦



17 (平成29)年3月に就役した護衛艦「かが」

〈諸元、性能〉

基準排水量 19,500t 乗員約 470名
 長さ 248m 幅 38m 深さ 23.5m 速力 30kt
 高性能 20mm 機関砲 SeaRAM 魚雷防御装置

〈概説〉

統合運用や災害派遣時の司令塔的役割など多用途な任務に対応するヘリコプター搭載型護衛艦

P-1 哨戒機



〈諸元、性能〉

乗員 11名 巡航速力 450kt
 全幅 35.4m 全長 38.0m 全高 12.1m

〈概説〉

警戒監視、搜索・救難や対潜水艦戦などの幅広い任務に従事する国産の主力固定翼哨戒機

「こんごう」型護衛艦



〈諸元、性能〉

基準排水量 7,250t
 乗員約 300名 長さ 161m
 幅 21.0m 深さ 12.0m
 速力 30kt 高性能 20mm 機関砲
 VLS装置 魚雷発射管
 SSM装置 127mm単装速射砲
 イージス装置

〈概説〉

BMD (Ballistic Missile Defence : 弾道ミサイル防御) 能力が付加されたイージスシステム搭載護衛艦

「あきづき」型護衛艦



〈諸元、性能〉

基準排水量 5,050t
 乗員約 200名 長さ 151m
 幅 18.3m 深さ 10.9m
 速力 30kt 高性能 20mm 機関砲
 VLS装置 魚雷発射管
 5インチ砲 SSM装置一式
 魚雷防御装置 哨戒ヘリコプター

〈概説〉

ステルス性に配慮し、幅広い防空能力を有する新型の汎用護衛艦

「そりゅう」型潜水艦



〈諸元、性能〉

基準排水量 2,950t
 乗員約 65名
 長さ 84m 幅 9.1m
 深さ 10.3m 速力 20kt

〈概説〉

AIP (Air Independent Propulsion : 非大気依存型推進) 機関を搭載した潜水艦

「おおすみ」型輸送艦



〈諸元、性能〉

基準排水量 8,900t
 乗員約 135名
 長さ 178m 幅 25.8m
 深さ 17.0m 速力 22kt
 高性能 20mm 機関砲
 輸送用エアクッション艇

〈概説〉

被災者に対する医療、補給設備などを設置しており、多面的な活用が可能な輸送艦

砕氷艦「しらせ」



〈諸元、性能〉

基準排水量 12,650t
 乗員約 175名
 長さ 138m 幅 28m
 深さ 15.9m 速力 19kt
 観測隊員約 80名
 大型ヘリコプター

〈概説〉

南極観測の支援を任務とし、4代目となる砕氷艦

「ましゅう」型補給艦



〈諸元、性能〉

基準排水量 13,500t
 乗員約 145名
 長さ 221m 幅 27.0m
 深さ 18.0m
 速力 24kt 洋上補給装置
 補給品艦内移送装置

〈概説〉

補給能力が大幅に向上した補給艦

US-2救難飛行艇



〈諸元、性能〉

乗員 11名
 最大速力 315kt
 全幅 33.2m 全長 33.3m
 全高 9.8m

〈概説〉

波高 3m の洋上でも離着水可能であり、洋上での救難に従事する救難飛行艇

SH-60K哨戒ヘリコプター



〈諸元、性能〉

乗員 4名
 最大速力 139kt
 全幅 16.4m 全長 19.8m
 全高 5.4m

〈概説〉

護衛艦に搭載し、護衛艦と共に多様な任務に従事する主力哨戒ヘリコプター

主要装備品の紹介〈航空自衛隊〉

F-35A 戦闘機



〈諸元、性能〉

乗員1名 最大速力マッハ1.6
全幅10.7m 全長15.6m 全高4.4m
25mm機関砲 空対空ミサイル

〈概説〉

高いステルス性能のほかこれまでの戦闘機から格段に進化したシステムを有する最新鋭の戦闘機

C-2輸送機



〈諸元、性能〉

乗員約4名 最大速力マッハ0.82
全幅44.4m 全長43.9m 全高14.2m
最大航続距離約7,600km (20t搭載時)

〈概説〉

戦術輸送能力の強化、国際平和活動などへの積極的な取組のため開発された国産輸送機

F-15 戦闘機



〈諸元、性能〉

乗員1~2名
最大速力マッハ2.5
全幅13.1m 全長19.4m
全高5.6m 20mm機関砲
空対空ミサイル

〈概説〉

優れた運動性能を誇る空自の主力戦闘機であり、国籍不明機への緊急発進など、空の守りを担う。

F-2 戦闘機



〈諸元、性能〉

乗員1~2名
最大速力マッハ2.0
全幅11.1m 全長15.5m
全高5.0m 20mm機関砲
空対空ミサイル
空対艦ミサイル

〈概説〉

日米で共同開発され、優れた技術が結集されている戦闘機

C-130H 輸送機



〈諸元、性能〉

乗員6名
最大速力318kt
全幅40.4m 全長29.8m
全高11.7m
航続距離約4,000km
(5t搭載時)

〈概説〉

航続距離が長く、PKO活動などで活躍する輸送機

UH-60J 救難ヘリコプター



〈諸元、性能〉

乗員5名
航続速力127kt
航続距離約1,295km
全幅16.4m 全長19.8m
全高5.1m

〈概説〉

遭難者を救助する救難ヘリコプター
右前方下部に空中受油装置を装備

KC-767 空中給油・輸送機



〈諸元、性能〉

乗員4名 最大速力マッハ0.84
航続距離約7,200km (30t積載時)
全幅47.6m 全長48.5m
全高15.8m

〈概説〉

世界初の遠隔視認装置を採用した空中給油機

E-767 早期警戒管制機



〈諸元、性能〉

乗員約20名
最大速力約450kt
航続時間約12時間

〈概説〉

速度の速さや航続時間の長さに優れる早期警戒管制機

J/FPS-5 警戒管制レーダー



〈概説〉

日本周辺空域を常時監視し、弾道ミサイルにも対処できるように開発された固定式レーダー

ペトリオット PAC-3 地対空誘導弾



〈概説〉

弾道ミサイル防衛の下層迎撃を担う地対空誘導弾であり、弾道ミサイル発射事象に際しては、適所に展開して対応する

主な広報施設のご案内

市ヶ谷台ツアー

(※要予約)



見学概要／

防衛省の心臓部とも言える市ヶ谷地区の見学ツアーです。防衛省に関するニュースなどでは、よく正門の映像が登場しますが、その市ヶ谷地区内に所在する庁舎や極東国際軍事裁判（東京裁判）の法廷となった大講堂などを移設・復元した市ヶ谷記念館をご案内し、休憩時間は自衛隊グッズなどが販売されている厚生棟でお過ごしいただけます。そのほか、午前のツアーでは、殉職者慰霊碑を、午後のツアーでは、月曜日から木曜日までは陸海空自衛隊装備品の模型を展示する広報展示室、金曜日は防衛研究所が保管する戦史史料の見学をご案内しています。

- 見学時間／①午前の部 09:30～11:45 ②午後の部 13:30～15:40
- 開催日／平日のみ ■ 料金／無料
- 駐車場／なし（お車での御来場はご遠慮ください。）
- 所在地／〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1
- 御予約・お問い合わせ／記念館係 03(3268)3111（内線：21904）

海上自衛隊鹿屋航空基地史料館



見学概要／

昭和11年に旧海軍鹿屋航空隊が置かれて以来、現在の海上自衛隊鹿屋航空基地に至るまでの海軍／海自航空部隊に関する豊富な資料を展示しています。戦争に関する貴重な資料が多く展示され、旧海軍航空隊に所属した多くの特攻隊員の遺品が展示されているほか、零戦が復元展示してあります。そのほか、海上自衛隊航空部隊の発展の過程、活躍する隊員の姿など、現在の海上自衛隊の活動を紹介しています。

- 開館時間／09:00～17:00（最終入館16:30）
- 休館日／年末年始
- 料金／無料
- 駐車場／あり（無料）
- 所在地／〒893-8510 鹿児島県鹿屋市西原3丁目11-2
- お問い合わせ／0994(42)0233

陸上自衛隊広報センター

「りっくんランド」



見学概要／

陸上自衛隊の担う幅広い役割や、災害派遣など国内における活動や国外における国際平和協力活動などの状況を、多くの写真や資料とともに紹介しており、最新鋭戦闘車両「10式戦車」をはじめとする多数の装備品を館内・屋外に展示しています。

館内には、臨場感溢れる映像が楽しめる3Dシアターや、ヘリコプターの操縦を疑似体験できるシミュレーターのほか、90式戦車や対戦車ヘリコプターの操縦席に座って写真が撮れるなど、お子様から大人まで楽しめる、見て、触れて、体感できる施設です。

- 開館時間／10:00～17:00
- 休館日／月曜日、第4火曜日（祝祭日の場合は翌日）及び年末年始
- 料金／無料 ■ 駐車場／あり（無料）
- 所在地・交通／〒178-8501 東京都練馬区大泉学園町
- お問い合わせ／03(3924)4176

航空自衛隊浜松広報館

「エアパーク」



見学概要／

「見て体験して楽しむ」をコンセプトとした航空自衛隊のテーマパークです。歴代ブルーインパルスをはじめとする多数の航空機の実物が展示されているほか、直径15メートルの大スクリーンに映し出される迫力満点の全天周シアター、パイロット訓練生と同じ飛行コースを体験できるシミュレータなど、大空を飛ぶパイロット気分を心行くまで満喫することができます。

わが国の空を守ることを任務とする航空自衛隊の「防空のための作戦の一例」について分かりやすく説明するなど、航空自衛隊を幅広く知っていただくことができます。

- 開館時間／09:00～16:00
- 休館日／月曜日（祝祭日等の場合は翌日）、毎月最終火曜日、3月第2週の火曜日～木曜日及び年末年始
- 料金／無料 ■ 駐車場／あり（無料）
- 所在地／〒432-8551 静岡県浜松市西区西山町
- お問い合わせ／053(472)1121

海上自衛隊呉史料館

「てつのかじら館」



見学概要／

潜水艦の発展と現況や掃海艇の功績などに関する歴史的な展示資料を通して、海上自衛隊の歴史や、呉市と海上自衛隊の歴史的な関わりについて紹介しています。

魚雷や掃海艇などの装備品や、機雷を除去する掃海作業の様子について展示しているほか、平成3年に実施したペルシャ湾での掃海活動の様子についても紹介しています。また、実物の潜水艦（平成16年に除籍した「あきしお」）を屋外に展示しており、潜水艦に乗艦し、艦内で、潜航中の環境や生活を疑似体験できるほか、現役隊員やOBとふれあひながら見学することができる貴重な史料館です。

- 開館時間／09:00～17:00（最終入館16:30）
- 休館日／火曜日（祝祭日の場合は翌日）及び年末年始 ■ 料金／無料
- 駐車場／あり（有料）（大和ミュージアムと共用）
- 所在地／〒737-0029 広島県呉市宝町5番32号
- お問い合わせ／0823(21)6111

防衛大学校ツアー

(※要予約)



見学概要／

防衛大学校は、将来の幹部自衛官となる人材を育成する防衛省の教育機関であり、「広い視野を開き、科学的な思考力を培う、豊かな人間性を培うとともに、幹部自衛官にふさわしい精神、体力基盤及び生活習慣を育成すること」を教育目標としています。

このツアーでは、卒業式の帽子投げで有名な記念講堂、本校の歴史が一目でわかる資料館、学生が生活する学生舎（外観）、防大グッズが購入できる学生会館などを見学できます。午後の見学では、「学生の行進」をご覧になれます（都合により行わない場合もあります）。

- 見学時間／①午前の部 09:50～11:20 ②午後の部 12:20～13:50
- 開催日／平日の月曜日（午後）、水曜日（午前・午後）、金曜日（午後）
- 料金／無料 ■ 駐車場／事前にお問い合わせください。
- 所在地／〒239-8686 神奈川県横浜須賀野水1-10-20
- 御予約・お問い合わせ／広報ツアー係 046(841)3810（内線：2019）

各種イベントのご案内

観閲式／観艦式／航空観閲式

自衛隊記念日記念行事として、内閣総理大臣を観閲官として、それぞれ3年に1度行われます。平成30年度は、観閲式が行われる予定です。

- 時期／例年10月
 - 場所／陸上自衛隊 観閲式(朝霞訓練場)
海上自衛隊 観艦式(相模湾(横須賀などから出航))
航空自衛隊 航空観閲式(百里基地)
- ※観覧は、応募による抽選となります。

富士総合火力演習

陸上自衛隊が行うイベントの中で最も人気があり、通常、「そうかえん」と略されて呼ばれています。東富士演習場(静岡県御殿場市等)で、毎年8月末に実施し、戦車やヘリコプター、火砲などによる実弾射撃を間近で見ることができます。是非、現代戦における火力戦闘の迫力を“全身で”ご体感ください。

※観覧は、応募による抽選となります。

自衛隊音楽まつり

自衛隊記念日記念行事の一環として、年に1度、日本武道館において、陸・海・空自衛隊の音楽隊などによるドリル演奏を中心に、幅広く自衛隊の活動を紹介する音楽の祭典です。例年、外国軍楽隊も参加する、国際色豊かなフェスティバルを是非お楽しみください。

※観覧は、応募による抽選となります。

陸海空自衛隊合同コンサート

「音楽」を通じて国民との融和をより一層深めるため、年に1度、全国主要都市のコンサートホールにおいて、陸・海・空自衛隊の中央音楽隊が一堂に会する、本格的なクラシックを中心とした吹奏楽の演奏会です。高度な演奏技術により奏でられる吹奏楽の魅力、あなたの街にお届けします。

※観覧は、応募による抽選となります。

航空祭(エアショー)

航空自衛隊の各基地では、創立記念日などの機会を通じて、航空自衛隊が保有する航空機の展示飛行や装備品の地上展示を行っています。また、ブルーインパルスBlue Impulseの展示飛行や、輸送機などに搭乗できる体験飛行が行われる場合もあります。普段味わえない空のショーをお楽しみ下さい。

駐屯地行事・基地祭

みなさまのお近くの陸上自衛隊の駐屯地や海上自衛隊、航空自衛隊の基地などでは、創立記念行事や基地祭などを行っています。装備品の展示や体験搭乗、音楽演奏のほか、市中でのパレードも行うなど、自衛隊を堪能できる様々な催しを行っています。是非お近くの駐屯地・基地にお越しいただき、楽しい一日をお過ごしください。



最新の情報やイベントへの応募については、省HPの「イベント情報」をご覧ください。
(<http://www.mod.go.jp/j/publication/events/index.html>)

携帯・スマートフォンはこちらから!

